



2024年8月8日

各位

会社名 株式会社ボルテージ
代表者名 代表取締役社長 津谷 祐司
(コード番号: 3639 東証スタンダード)
問合せ先 広報 IR室 藤原 奈緒子
TEL: 03-5475-8141
URL: <https://www.voltage.co.jp/ir/>

当期実績(連結・個別)と前期実績の差異、および雑損失の計上に関するお知らせ

2024年6月期の連結業績及び個別業績につきまして、それぞれ前期実績との差異が生じました。また、2024年6月期において、雑損失が発生しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年6月期連結業績と前年実績の差異(2023年7月1日～2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	4,257	△84	△63	△39	△6.10
当期実績(B)	3,456	△94	15	5	0.82
増減額(B-A)	△800	△9	79	44	
増減率(%)	△18.8	—	—	—	

2. 2024年6月期個別業績と前年実績の差異(2023年7月1日～2024年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	4,257	△84	△64	△65	△10.21
当期実績(B)	3,456	△94	15	5	0.82
増減額(B-A)	△800	△10	80	70	
増減率(%)	△18.8	—	—	—	

(1) 理由

2024年6月期の売上高は、連結及び個別において、新事業である電子コミック・コンシューマ事業が増加したものの、アプリ事業の既存タイトルの経年減衰により、全体として減少しました。

営業利益は、アプリ事業の運営効率化により、労務費・外注費及び広告宣伝費等費用を抑制したものの、売上の減少が上回り、若干の赤字拡大となりました。また、投資有価証券売却益による営業外収益の計上があったことで、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益及び当期純利益は黒字転換いたしました。

3. 雑損失の計上

当社におけるグッズ・CD等の商品につきまして、2024年6月期に策定した在庫処理ポリシーに則り直近の販売実績に照らした販売可能性及び滞留在庫の判定を行いました。これにより、2023年6月期末

時点の滞留在庫につきましては、2024年6月期末において15百万円雑損失として営業外費用に計上いたしました。

以 上